

航空標識

Aerodrome Beacon

2AL型風向灯

特 徴

昼間及び夜間の風向指示のために使用される2AL型風向灯は、従来の1型とは異なり、航空機が接触した場合に、航空機に与える損傷を少なくするために脆弱性を持たせた新型の風向灯です。設置場所の限定された飛行場にも適合できるように全高を低く抑えた構造になっております。

吹流し、照明器具及び航空障害灯は、ポールを倒すことで保守作業を容易に行うことができます。

国土交通省航空局承認型式:2型風向灯(2AL型)

構 成

2AL型風向灯は、吹流し、吹流し支持枠、支柱部、照明器具(吹流し用及び円形帯用)、航空障害灯、可折部、基台で構成される。

◆吹流し

ナイロン製の円錐頂部切断形状で、大口径部の直径は1m、長さ3.5mである。色は黄赤色と白色の5交互縞または白色と赤色の2色表示である。

◆吹流し支持枠

リング型で吹流しの大口径部を保持し、ポールを中心に自由に回転できるように2個のポールベアリングで、ポールに取り付けられる。

◆支柱部

3本の鋼管製で、ポール支持枠と、吹流し支持枠、照明器具、航空障害灯を保持するポールにより構成される。ポールは鋼管製で、ポール支持枠にピボットで支持され、下端には重錘及び鎖が取り付けられている。ポールはピボットを中心に倒すことができ、吹流し、照明器具、航空障害灯の保守作業が容易に行える。

◆照明器具吹流し

内部を照射するレフランプ1個と円形帯を照射する反射笠付きの4個の白熱電球及び支持鋼管で構成される。

◆航空障害灯

ポール頂部にOM-3A型航空障害灯を取り付ける。

◆可折部

風向灯に航空機が接触した場合に航空機の損傷を最小限にするために、ポール支持枠下部はF-2型可折接手で保持する。

◆基台

厚さ22mmの鋼板製で、F-2型可折接手が取り付けられるようにネジ加工が施され、アンカーボルト用の穴が8箇所あけられている。また、鎖をつなぐためのリングがついている。

取付方法

風向灯の取付は、最初に鋼板製の基台をコンクリート製の基礎に8本のアンカーボルトで水平に取り付け、次に3個の可折接手を基台に取り付け、最後にポール支持枠の3本のパイプをそれぞれ可折接手に取り付ける。なお、飛散防止のため、ポール下端に付いている鎖の端を基台上のリングに取り付けること。

日本光機工業株式会社

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-7-18 航空障害灯担当 TEL 045(350)7231 FAX 045(783)5047

記載内容は2017年4月1日現在のものです。



日本光機工業株式会社
NIPPON KOKI KOGYO CO.,LTD.

ISO9001 認証取得
ISO14001 認証取得

航空標識

Aerodrome Beacon

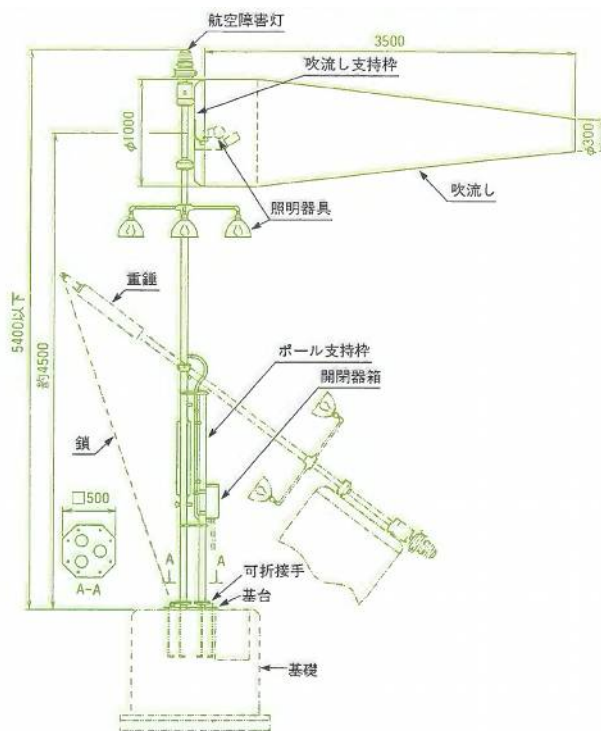
2AL型風向灯

仕様

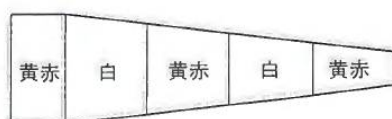
環境条件

温度	-30℃ ~ +55℃
風速	35m/sec. (吹流し付きの場合) 45m/sec. (吹流しなしの場合)
最小風速指示	1.5m/sec.以上
定格電圧	AC100V
電球	吹流し照明用 100V180W 円形帯照明用 100V200W×4
航空障害灯	100V100W
吹流しの色	第2図参照
寸法	第1図参照
最大地上高	5.4 m
重量	約270kg

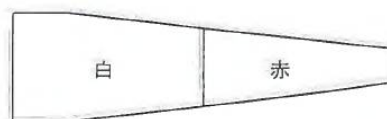
第1図



第2図



航空局仕様



防衛省仕様



日本光機工業株式会社
NIPPON KOKI KOGYO CO.,LTD.

ISO9001 認証取得
ISO14001 認証取得